

# 第50回 九州保育団体合同研究集会福岡集会

集会テーマ

## 子どもの命が輝く 平和な未来のために ～紡いできた保育の実践と 運動の歩みを これからも～



第50回九州保育団体合同研究集会 福岡集会のご案内

実行委員長 鐘ヶ江 淳一

私たちは、九州保育団体合同研究集会(以下、「九州合研」という。)の50周年を記念する集会を2020年9月に開催する予定でした。この50年間、私たちが一貫して追求してきたのは、子どもたちの今の姿、育とうとしている姿を大切に保育を実現することでした。新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を見送った2年間、私たちはそうした思いを一層強くしたように思います。自分たちが大切にしてきた保育を一つひとつ確認しながら、コロナ禍での保育を手探り、試行錯誤の中で追究してきました。その過程で、私たちは、目の前の子どもの姿から出発し、必要な経験を見出し、保障する保育の大切さを再認識しました。また、コロナ禍の中、保育の営みが、子どもも大人も安心して過ごしていく社会を支えていることに多くの人たちの関心が向けられています。それと同時に、保育者の配置(設置)基準や処遇などの公的保育制度の脆弱さも顕在化しています。見通しが持ちにくい不安で心配な時代だからこそ、子どもも大人も安心できる保育を、そして、未来の豊かな社会をつくっていく主体者を育てる保育の在り方をこれからも模索し、社会に発信し続けていきたいものです。「子どものために一緒に保育を考える」九州合研が今までに果たしてきた役割とこれから担わなければならない責務について、改めて論議し、学び合う節目の集会としたいと考えています。今まで学び合ってきた仲間との再会、これからの繋がる新たな仲間との出会い、福岡集会在がそうした機会になることを願います。みんなで繋がり、学び、明日の保育に向け、元気が出るような集会を一緒に創り上げていきましょう！

日程 2022年9月3日(土)・4日(日)・11日(日)

- 今集会はオンラインで開催いたしますので、会場は設置いたしません。
- 今集会に関する情報は、第50回九州保育団体合同研究集会 福岡集会 HP をご覧ください。(随時更新中)

<http://www12.plala.or.jp/hoiku/q/50/index.html>

スケジュール	13:00	16:00
9/3(土)	開会集会・記念講演	
9/4(日)	分科会(4日開催分)	休憩
	市民講座Ⅰ	
9/11(日)	分科会(4日開催分)	休憩
	市民講座Ⅱ	
9/11(日)	分科会(11日開催分)	閉会集会
	10:00 10:30	12:00 13:00
	14:30	15:00 15:15 16:00

**開会集会** 3日(土) 13:00~14:00  
Live配信/後日録画配信あり

**記念講演** 3日(土) 14:00~16:00  
Live配信/後日録画配信あり

●**歓迎行事**  
福岡の保育者や保護者も一緒になって企画した歓迎行事です。画面の前の皆様も一緒に楽しく歌って、九州合研50回目の記念すべき大会を盛り上げていきましょう！

●**基調提案**  
コロナ禍が可視化した日本社会の矛盾を踏まえる時、保育に求められているものは何でしょうか。基調提案を通してこのことを一緒に考えることができればと思います。九州合研50年の蓄積から何を学びとるか、保育をめぐる新たに生み出された視点とは何かなどについて話題提供を致します。

●**九州合研50回記念企画**  
今年は九州合研50回の記念の年です。半世紀にも及ぶ軌跡の節々には、沢山の人の支えや苦労と熱き思いがありました。今回はそれらをギュッと凝縮したムービーを制作しました！九州合研の魅力満載のムービーです。きっと明日からの保育に元気がわいてきます。お楽しみに～♪

## 『子どものキモチはどこにある？』

～豊かな発達の手ごたえを感じる  
保育と子育てを考える～

講師 池添 素さん (NPO 法人福祉広場 理事長)



撮影 山田真人

子どもたちに「おやついくつほしいかな？」と尋ねたら、「いっぱいほしい！」と答える子どもたちが多いのではないのでしょうか。おもちゃもスコップも、折り紙も積み木もいっぱいあった方が、子どものキモチは喜びます。でもオトナは、少しでも譲り合って、ガマンも学びながら、楽しく遊べるようになってほしいと願います。では、いっぱいおもちゃがあったら、貸してあげたりガマンが育たないのでしょうか。日々の保育や子育ての中で「どこまで子どものキモチを聞いてあげればよいのか」は、よく悩むテーマのひとつです。子どものキモチを探りながら、豊かな発達につながる保育や子育てでの手ごたえを考えます。

### ◇開催方法について

- 開会集会・記念講演【Live配信・録画配信あり】  
Live配信日：9月3日(土)13時00分～16時00分  
録画配信期間：9月20日(火)10時00分～10月31日(月)
- 講座【録画配信】  
録画配信期間：9月3日(土)16時00分～10月31日(月)
- 分科会【オンライン(Zoom)・録画配信なし】  
開催日：9月4日(日)・11日(日)10時00分～15時00分  
※各分科会開催日は各分科会のご案内をご覧ください。
- 市民講座【Live配信・録画配信なし】  
Live配信日：9月4日(日)10時30分～14時30分
- 閉会集会【Live配信・録画配信あり】  
Live配信日：9月4日(日)15時15分～16時00分

◇参加費(事務手数料含む)について 支払方法については、別紙《参加申込方法について》をご参照下さい。

- 一般 5,000円
- 学生 一律2,000円

### ◇報告集について

- 報告集 1冊1,500円(送料込み)

◇お申し込みについて 申込方法については、別紙《参加申込方法について》をご参照下さい。

- お申し込み開始日 6月1日(水)10時より インターネットからお申し込みください。  
※ 1台のパソコン等から複数で参加する場合も、お一人ずつ参加申込をして下さい。  
※ 1台のパソコン等から複数で参加する場合の分科会(市民講座)は、参加者全員が同じ分科会(市民講座)になります。  
※ 団体申込はありません。  
※ インターネットでのお申し込みがご利用できない場合のみFAXでお申し込み下さい。

●申込締切日 7月31日(日)まで

### ◇分科会について

- 分科会の参加人数が多くなりすぎると、議論がしにくくなるため、各分科会の上限人数は90名となっています。(先着順)
- 参加ご希望の分科会の人数が上限に達した場合は、他の分科会(市民講座)を選んで申し込んでいただくことになります。  
※ お申し込み時に上限に達している分科会の選択はできないようになっています。

### ◇参加方法について

- ①「第50回九州保育団体合同研究集会 福岡集会 提案集」を8月中旬以降にお送り致します。
- ② 提案集の集会案内にしたがって、パソコン等からご参加下さい。  
※ 録画配信企画は、配信期間中に何度でも視聴できます。

### ◇キャンセルについて

- 8月10日(水)までに連絡があった場合に限り、事務手数料を差し引いて返金致します。  
■キャンセル連絡先 福岡県保育センター  
TEL：092-761-5234 FAX：092-781-1995

### ◇お問い合わせ先について

- お問い合わせ先 福岡県保育センター  
TEL：092-761-5234 FAX：092-781-1995

■後援  
公益社団法人福岡県保育協会・一般社団法人福岡市保育協会・一般社団法人福岡県私立幼稚園振興協会・一般社団法人福岡市私立幼稚園連盟・福岡県・福岡県教育委員会・福岡市・福岡市教育委員会・北九州市・行橋市・豊前市・中間市・直方市・飯塚市・田川市・宮若市・嘉麻市・宗像市・宗像市教育委員会・古賀市・福津市・糸島市・筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・久留米市・八女市・筑後市・筑後市教育委員会・小郡市・うきは市・朝倉市・大牟田市・柳川市・大川市・みやま市・那珂川市・芦屋町・岡垣町・遠賀町・吉富町・鞍手町・上毛町・築上町・苅田町・みやこ町・小竹町・桂川町・香春町・添田町・糸田町・川崎町・大任町・赤村・福智町・宇美町・篠栗町・志免町・須恵町教育委員会・新宮町・久山町・粕屋町・筑前町・東峰村・大刀洗町・大木町・広川町・西日本新聞社・毎日新聞社・朝日新聞社・読売新聞社・NHK福岡放送局・RKB毎日放送・九州朝日放送・テレビ西日本・テレQ・FBS福岡放送

(2022年4月13日現在)

〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通5-1-26 アロ-103号館307号室 福岡県保育センター内  
TEL：092-761-5234 FAX：092-781-1995 事務局長 中岡 亘

## 講座 録画配信 <9/3 16:00～10/31予定>

講座ア	集団づくり入門講座
『 <b>「集団づくり」の基礎と実践</b> 』	講師：脇 信明(長崎大学)
子どもは子ども集団のなかで育っていきます。どういうクラス集団なのか、子ども同士の関わりがどのようなもので、成長を左右することもあります。また、その子ども同士の関わりや活動を通してクラスの雰囲気をつくるのは保育者の役割でもあります。子どもたちが主体となって、学びあい育ちあう子ども集団をどのようにつくるか、事例を交えながら学んでいきましょう。	

講座イ	乳児保育入門講座
『 <b>乳児保育を楽しく</b> 』	講師：菱谷 信子(精華女子短期大学名誉教授)
赤ちゃんが人生の第一歩を踏み出し、親も親としての第一歩を歩み始める乳児期。乳児が一日一日を、生き生きと楽しく充実して過ごし、幸せで確かな育ちをするために、保育者はどのようなことを大切に、どんな環境を作ればよいのでしょうか？具体的な実践をもとに、乳児期の保育と発達をつなげながら、乳児保育を楽しく実践できるように、そして日々の悩みを解決できるよう考えましょう。	

講座ウ	保育情勢講座
『 <b>子どもの権利保障のために、私たちにできること</b> 』	講師：逆井 直紀(保育研究所)
保育所等が、社会を維持し、子どもたちの生活と発達を保障するために不可欠の場であることが、コロナ禍の中で明らかになりました。では、実際の政治や行政は、保育の充実の方向に動いているのでしょうか？この講座では、とかく難しいと敬遠されがちな保育の制度や政治の問題を、できるだけわかりやすくお話し、ともに保育の未来を展望したいと思います。	

講座エ	子育て・教育を考える講座
『 <b>子どもの権利条約にすかしてみれば</b> 』	講師：大屋 哲二(福岡市立小学校)
コロナ禍で小学生の子どもたちの成長・発達に今、どのような影響が出ているのでしょうか。また、それはコロナ禍以前からの教育改革と相まってどのような影響が考えられるのでしょうか。子どもの権利条約の理念をヒントに子育て・教育に関わる皆さんと一緒に考えてみたいと思います。	

講座オ	乳幼児期の食事を考える講座
『 <b>楽しく食べる環境づくり～一人ひとりに食べる喜びを～</b> 』	講師：荒木 千恵(若竹保育園)
乳幼児期は、食べるための機能を獲得していく大切な時期です。だからこそ、この時期は食事の段階を丁寧に進めていきたいものです。個々の発達に合った食事形態や道具への配慮は、自分で食べる喜びへと繋がっていきます。一緒に子どもたちの発達と食事について考えましょう。	

講座カ	保育リフレッシュ講座
『 <b>保育者のこころの健康</b> 』	講師：岡田 健一(九州大谷短期大学)
保育は感情労働でもあります。いつも子どもや保護者、同僚や上司の気持ちを考えているので、時には頑張りすぎて自分の気持ちを我慢し、ストレスを抱え込んでしまうこともあります。この講座では、日頃の保育で感じる様々なストレスへの理解を深め、こころの健康を維持し明日に向かっていけるヒントを学びます。	

講座キ	大人のためのお話会
『 <b>岩手方言で聴く 東北の昔話と賢治の童話</b> 』	講師：宮園 智子(福岡おはなしの会)
東北の厳しい風土の中で語り伝えられた昔話から「生きる力」を学び、方言で語られる賢治童話に「ほんとうのしあわせ」を求め続けた賢治の世界に近づきます。震災後の東北の復興に願いをこめて。	

講座ク	いのちの輝き講座
『 <b>待ち望まれ生まれてきたいのち</b> 』	講師：仲道 由紀(助産師)
ひとりの幼子の突然の死をきっかけに始めた“いのちの尊さ”を子どもたちに伝える活動と助産師として“いのちの誕生”を見守ってきた立場から『いのちの奇跡』をお伝えします。子どもたちが“いのちの誕生”にふれあい、「生まれてきますことへの奇跡」を見出し、「生きようとする力」を発揮できるような環境づくりが大切と考えます。すべての子どもは待ち望まれて生まれてきます。一緒に“いのち”について考えてみませんか。	

講座ケ	平和について考える講座
『 <b>高校生が届けたい平和の声</b> 』	講師：第24代 25代高校生平和大使と高校生一万人署名実行委員会メンバー
高校生平和大使の経緯及び福岡県で行っている活動内容や現状をお話しするとともに、平和大使メンバーの平和観や応募のきっかけをご紹介します。高校生ならではの視点や考え方をお伝えします。世代や文化も異なる私たちだからこそこの講座となることを望みます。	

講座コ	コロナ禍の保育
『 <b>コロナ禍の保育リレートーク～語らう、訴えよう、伝えよう～</b> 』	講師：九州合研常任委員会
九州合研では「コロナ禍の保育」についてリレートークを行ってきました。そこでは保育の日常の変化によって、苦悩する保育者たちの様子が紹介されました。しかし、マイナス面だけではありません。制限の中でこそ、一人ひとりが大切にされる保育、子ども主体の行事が追求される実践も紹介されました。本講座では福岡、長崎、鹿児島、宮崎の保育園の園長が、コロナ禍の保育をどのように乗り越えてきたのか、今、何を訴えたいのか、そして未来に何をつないでいきたいのか、リレートークで熱く語ります。	

## 分科会 オンライン(Zoom)分科会/録画配信なし <9/4・9/11 両日とも 10:00～15:00> ※ 分科会開催日を4日と11日で変更する場合があります。

① 0歳児保育	開催日:4日
<ul style="list-style-type: none"><li>0歳児の発達にとって何を大切にしたら良いかについて深め合おう。</li> <li>0歳児の健康、身体づくりにどのように取り組み、どうコミュニケーションを図っていけばよいかについて深め合おう。</li> <li>0歳児の発達を保障するために、どのような条件を整備し、体制をつくっていったらよいかについて深め合おう。</li></ul>	
	南條恵・田中洋・沼田史・菅原航平

② 1・2歳児保育	開催日:11日
<ul style="list-style-type: none"><li>1・2歳児の生活と育ちの実態を把握し、子どもが安心していきいきと過ごすための保育のあり方を、実践記録をもとに深め合しましょう。</li> <li>コロナ禍における保育の中で、1・2歳児の発達を保障するために何が求められているか、みんなで考え合しましょう。</li> <li>保育者と子ども、子ども同士の関係づくりと共に、保育者と保護者、保育者同士のよりよい関係をどのように築いていくか、探っていきましょう。</li></ul>	
	小池亜津子・前田晶子・木戸美樹・大津宏美

③ 3歳児保育	開催日:4日
<ul style="list-style-type: none"><li>3歳児クラスの新年度にどのような配慮は必要となるのか。新入園児だけでなく、2歳児クラスから移行の子どもの意欲と不安への対応について考え合しましょう。</li> <li>3歳児の生活と育ちをとらえ、見通しを持った保育をどのように行っていくのかについて話し合しましょう。</li> <li>保育者と子どもとの関係、子ども同士の関係をどのようにつくっていくのかについて学び合しましょう。</li> <li>保育者同士や保護者との関係をどのようにつくるのかについて探っていきましょう。</li></ul>	
	阿南寿美子・大元千穂・北崎理恵・井上邦子

④ 4・5歳児保育	開催日:11日
<ul style="list-style-type: none"><li>いろいろな大変さを抱えた子どもたちも増えていますが、4・5歳児らしい楽しい活動をくぐり、どの子どもクラスの仲間として育ち合う保育実践を学び合しましょう。</li> <li>子どもの育ちや保育を豊かなものにする為に、保護者や地域等をまきこんで行った実践を交流し、学び合しましょう。</li> <li>進級や就学への接続を見据えた保育をどう進めていくか、話し合しましょう。</li></ul>	
	金子幸・末裔雅美・草場慎一

⑤ 異年齢保育	開催日:4日
<ul style="list-style-type: none"><li>異年齢保育の方法は様々ですが、年齢の枠を超えた、多様な人間関係や学びの中から生まれる子どもの育ちを支える保育と言えるでしょう。この分科会では、いろいろな異年齢保育の取り組みが紹介されますので、参加者の皆さんと一緒に保育を深めていきたいと思います。また同時に、広く保育（方法）のあり方考える場となれば幸いです。</li></ul>	
	坪井敬輔・川上隆子・鍋田まゆ・島田知和・奥村智美

⑥ 保・幼・小の連携と学童保育	開催日:4日
<ul style="list-style-type: none"><li>「子どもらしい子ども時代」を守り、学ぶ権利の主体として子どもを育む実践を交流しましょう。</li> <li>「子どもを真ん中」に、保護者、保育者、教師、地域のつながりをどのように築くのか、それぞれの思いや願いを語り合いながら、理想と現状、課題を見つめ合しましょう。</li> <li>学童保育の実践を通して、学童保育と諸福祉施設や機関との保育の縦(保育内容)と横(連携)のつながりについて考え合しましょう。</li></ul>	
	嶺村久美子・松村奈留美・鍋倉功

⑦ 障がい児保育	開催日:4日
<ul style="list-style-type: none"><li>障がいのある子どもの生活と保育の実態は、どうなっているのでしょうか。</li> <li>障がいのある子どもの発達を保障する手立てには、どんなことがあるのでしょうか。</li> <li>クラスの子どもたちの育ち合いを、どうつくり出していけばよいのでしょうか。</li> <li>保育者と保護者、教育機関の連携はどうあったらよいでしょうか。</li></ul>	
	米衛政光・石本隆士・渡辺裕子・大迫より子・渡邊美紀乃・浜田友紀

⑧ 集団づくり	開催日:11日
<ul style="list-style-type: none"><li>集団づくりは、子どもを集団に押し込めたり型にはめるような保育ではなく、どの子も主体的に活動し、つながりあい認めあう関係性を子ども集団の中に築くための保育を考える分科会です。保育者にとって気になる子や支援を必要とする子どもたちとともに、園での諸活動や日々のトラブルと一緒に解決していく過程で、仲間と生きる民主的な社会の主人公としての知恵と力を出しあう保育を考えていきます。子どもと集団の育ちについて一緒に学びあいましょう。</li></ul>	
	脇信明・古林ゆり・神崎真由美

⑨ 0・1・2歳児のおそびと生活	開催日:11日
<ul style="list-style-type: none"><li>0・1・2歳児の発達に応じた遊びの保障とあそびを豊かにするための環境づくりとは</li> <li>0・1・2歳児の心地よい生活をつくり出す保育のあり方や工夫とは</li> <li>0・1・2歳児の遊びと生活を充実させる子どもを真ん中の保育者と保護者の良い関係づくりとは等についてみんなで考えましょう。</li></ul>	
	菱谷信子・川内良子・西本紫舞・小濱田さち子

⑩ 3・4・5歳児のおそびと生活	開催日:11日
<ul style="list-style-type: none"><li>あそびの重要性が再び主張されている今日、幼児はあそびや生活、仕事の取り組みの中で、どのように自分づくりをし、仲間とどのようにあそびや生活や仕事を組織し発展させていったらよいか</li> <li>九州各地の幼児のあそびや生活、飼育、栽培などの仕事の取組みを交流しましょう。</li></ul>	
	山並啓・竹腰美佐子・前田志津子・河野秀子・二子石諒太

⑪ 子どもの生活と美術・造形(えがく・つくる)	開催日:4日
<ul style="list-style-type: none"><li>幼児期の豊かな表現活動を引き出すために各実践が何を問題にし、ということが明らかになったのか具体的に議論します。絵や造形表現のとらえかただけでなく、その指導に対しては様々な考え方や実践方法があるだけに、それぞれの立場を大事に、共通点や相違点を実践の中で確かめていくことも重視しています。</li></ul>	
	宮本文香・高田百合・甲斐幸恵・石上洋明・宮本千里

⑫ 子どもの生活と音楽(うた・リズム表現)	開催日:11日
<ul style="list-style-type: none"><li>子どもの心をひらき、うごかし、子どもをそだてる音楽。その音楽をどう子どもに出会わせ、渡し、保育の力にしてゆくのかを学び合しましょう。</li></ul>	
	毛谷村裕子・大石八重・山並さやか

⑬ 子どもの生活と文学(絵本・劇あそび)	開催日:11日
<ul style="list-style-type: none"><li>子どもたちに絵本やお話の世界の豊かさを伝えるための保育者の役割とは。</li> <li>絵本、お話のあそび方、与え方は。</li> <li>生きる力になりうる文学とは。</li></ul>	
	佐伯由佳・八尋理恵・藤本朋美・大井賢太郎

⑭ 子どもの生活と身体づくり・運動	開催日:4日
<ul style="list-style-type: none"><li>コロナ禍を通し、私たちは、友だちと一緒に、身体を動かし、知的機能も積極的に活用するあそびが、子どもたちの育ちにとって大切だということに、改めて気づきました。一方で、運動会、なわとび大会などの行事に向け、子どもは練習に保育者は準備に追われるといった今までの「当たり前」を見直していくきっかけにもなりました。子どもたちがワクワク・ドキドキするようなあそびを、参加者みんなの今までの経験や保育の蓄積に基づいて考えてみましょう。</li></ul>	
	鐘ヶ江淳一・福井英二・坂本慎也・秋丸順平

⑮ 健康・食・生活リズム	開催日:11日
<ul style="list-style-type: none"><li>食べることは、生きること、そして保育の中で重要な分野、あふれる食情報の中、食の大切なものを認識しながら、食で困っている親子関係、食情報を提供してきた分科会です。</li> <li>アレルギーへの取り組み、衛生問題、離乳食の進め方、食材料の選び方、食育など毎年多くの取り組みが報告されます。</li></ul>	
	松下賢治・二宮直子・奥村美香

⑯ 保育計画と園の行事	開催日:4日
<p>実践に役立つ保育計画の作成方法や記録の取り方について幅広く学びあう分科会です。また各園の行事（ねらいや内容）についても意見交換します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>豊かな保育実践をささえる保育の計画とは</li> <li>コロナ禍における行事の取り組みの紹介</li> <li>保育者の合意形成をいかに育むか</li> <li>書類の作成や会議の時間をどうつくるか</li></ul> <p>園の悩みを相談しあうことで、よりよい保育の可能性を探りあいましょう。</p>	
	吾孫子幹・和智延代・上原真幸・豊永智恵子

⑰ 乳幼児期からの平和教育	開催日:4日
<ul style="list-style-type: none"><li>平和的人間の形成は、現在の教育の原点になるべきものといえます。2020年からのコロナ禍によって、平和と民主主義はこれまで以上に危機にさらされています。今こそ、乳幼児期からの平和教育の取り組みが求められます。平和を愛する心を育む平和教育は、子どもの誕生の瞬間から始まります。おとなに愛されているという安心感や自己肯定感を育むことも、仲間と話し合う力を培うことも、平和の心を育てることにつながるものです。日常の保育をあらためて平和教育の視点からとらえ直してみることから始めていきましょう。</li></ul>	
	船越美穂・黒川久美・佐藤和・前原祐子・柳原志祐

⑱ 保育政策と保育運動	開催日:11日
<ul style="list-style-type: none"><li>今保育現場はコロナ禍の中で、子ども達の命を守るために、感染防止に気をつけながら、保育を行っています。また、今までおこなっていた行事の見直し、毎日の保育をどのように組み立てていくか皆さん悩んでおられることと思います。そのような中で、自分自身も感染に不安を抱きながら保育にあたっている保育士や関係者の皆さんのご苦労は計り知れません。ただでさえ保育士不足の中、コロナ感染により、益々保育士不足に拍車がかかっています。園は処遇改善のために、一人9,000円の賃上げを行うと言っていますが、全ての職員でなく、保育士定数の人数分しか支給されないので、全職員で配分すると4,000円前後にしかなりません。このように、耳障りの良い宣伝に踊らされることなく、処遇の根本的な解決策などをみんなで話し合しましょう。</li></ul>	
	建川美穂・吉富利子・愛甲明美

⑲ 子育て支援とつながりづくり	開催日:4日
<ul style="list-style-type: none"><li>さまざまなところで「孤立」が問題になっています。コロナ禍によりさらに困難は深まり、大きな影を落としています。この分科会では、「つながり」をキーワードにして、不安・困難の少ない子育てを目指し、保護者と保護者のつながり、保護者と保護者のつながり（保護者会活動など）、そして園・保護者・地域のつながりについて考えていくことを目的としています。「つながりづくり」をどう行っていけばいいのか、みんなで考えましょう。</li></ul>	
	小西祐馬・江玉睦美・甲斐清美・藤田一郎・山口雅子

⑳ よりよい職場づくり交流会(園長・主任)	開催日:11日
<ul style="list-style-type: none"><li>園の運営や職員の集団づくりは園長、主任の大切な役割です。コロナ禍で会議や行事の縮小が余儀なくされ、職員の資質向上のための研修の実施もままならない日々の中、皆さんの園での取り組みを出し合しましょう。</li></ul>	
	宮本敦子・長谷裕之・甲斐寛・松木明子

Ⅳ 交流会	開催日:11日
<ul style="list-style-type: none"><li>① <b>地域型保育交流会</b></li> <li>・待機児童もいながら定員割れをしている保育所もあります。特に0歳児の所の申し込みが減っています。そのような状況の中でも、0・1・2歳児の乳幼児専門として保育の質を向上させるため、保護者や管理者、または関わる方々で日々の保育の悩みや疑問点、そして、意見や情報を交流し、明日からの保育をよりよいものにしていきましょう。</li> <li>・小規模保育、家庭的保育、事業所内保育の保育者や子育て支援員、またこれから地域型保育に関わりたいと考えている方、企業主導型保育園の方も是非、ご参加ください。</li></ul>	
	中村千恵子・佐藤レイ子・渡邊真奈花

市民講座	Live 配信/ 録画配信なし <9/4 10:30～14:30>
市民講座Ⅰ	10:30～12:00

「いつからでもやいなおせる子育て」～子どもが自分で育つ力を育む～	講師：池添 素(NPO 法人福祉広場理事長)
一人として同じ子どもはいないのだから、子育ての教科書やきょうだいの経験は役に立ちません。だから、親はいつも新米で失敗ばかりしてしまいます。ところが、それでも子育てできるのは、子どもは親の失敗を許してくれる優しい存在でいてくれるからです。感情に任せてきつく叱ってしまっても、子どもは親のことが大好きです。子育てはいつからでもやり直せるから、みんな親になれるのです。子どものことで悩んでいるのなら、子どもを責めないで、自分を責めないで、パートナーを責めないで、ちょっと違う角度から考えてみませんか。	
市民講座Ⅱ	13:00～14:30
オカリナ演奏と語りによる「子育て・保育真っ最中のあなたへの応援歌」～癒し・子育ての知恵・生きる勇気とともに、さらに～	講師：山口 裕之(マザー・アース人権啓発研究所主宰・オカリナ奏者)

私たちは2年余りに及ぶコロナ禍の中で多大な制約と苦悩を強いられてきました。しかしその中でも新たな学びも受けとめました。来たるコロナ禍が収束した時代には、単に2年半前に戻るのではなく、新たなつながりと成長のステージへと昇っていきたいものです。人はみな、ともに手をたすさえて自己実現し幸せになるために、この世に生まれてきたのです。31年間福岡市で小学校教諭を行ってきたオカリナ先生の語りと演奏により、子どもたちに最大限の成長と勇気づけ、自尊感情の高まりを保障していく子育ての知恵と具体的方法を伝えます。優しくつよき土笛の音色と語りに包まれたとき、あなたは癒されそっと背中を押されることでしょ。

閉会集会	Live 配信/録画配信あり <9/4 15:15～16:00>
九州保育団体合同研究会 初のオンライン集会でした。いかがだったでしょうか。録画配信企画も充実していますので、たくさん学びを深めて下さい。そして、この学びを明日からの保育や子育てに活かしましょう。今回は「 <b>鹿児島集会</b> 」となります。福岡から鹿児島への思いを込めたパトントッチ企画もあります。	